

まちづくり
だより

広報

かみてる

NO. 59

2019 12/15号

《発行》

神照地区地域づくり協議会

《事務局》

神照まちづくりセンター

TEL 62-0265

FAX 64-2752

神照地域の人口

(令和元年10月1日現在)

男 9,908人

女 9,889人

合計 19,797人

第43回神照ふれあいフェスティバル



第43回目を迎えた「神照ふれあいフェスティバル」は、10月19日（土）と20日（日）に盛大に開催されました。19日は時々雨、20日は晴れ曇りの天候で、長浜市長や地元県議員などをはじめ両日ともたくさんの方で賑わいました。

ホール舞台では日頃まちづくりセンターで練習しておられるサークル団体の発表や、他の部屋やロビーでは生け花や書道の展示、子供向け体験コーナーでは万華鏡づくりなどで楽しまれ、また模擬店では用意した食べ物などは全て売り切れ、大いに盛り上がりしました。

一方両日ともに北中学校生をはじめ多くの地元ボランティアの人達にお手伝い頂き大変有難うございました。

かみてるこども広場

10月12日（土）神照まちづくりセンターで本年度第4回目の「かみてるこども広場」が開催されました。当日は台風19号の影響で雨が降っていましたが、神小・北小の児童とその保護者やボランティアの人など51名の参加がありました。



割り箸で飛行機を作って飛ばしたり、カラムや将棋などでいろいろ遊び、初めて会う子ともお話ができました。またお昼ご飯は「ちらし寿司」をおなか一杯みんな楽しく食べ、初めて「さつま芋のじく」の炊いたのも食べました。美味しかったです。



第50回 神照親善ソフトボール大会

本年で50回目を迎えた神照親善ソフトボール大会は、心配されていた天気も非常に暑いい天気となり、9月29日（日）神照運動公園グラウンドで16自治会19チーム約270名の選手が参加され盛況に行われました。

決勝戦の新庄寺（A）町と相撲町とは同点となり、最終ジャンケンにより新庄寺（A）

町が優勝されました。選手や応援の皆さんお疲れ様でした。

優勝 新庄寺(A)町

準優勝 相撲町

第3位 泉町、十里町



新庄寺(A)町、
相撲町の皆さん

「稲刈り」「さつま芋ほり」を体験

10月5日（土）に小学生とその保護者とで、5月に植えた『もち米』と『さつま芋』の収穫体験をしました。42名の親子が参加され、興味深く鎌を持ったり、恐る恐る稲を刈ったり、力いっぱいさつま芋を採ったりと、みんな一生懸命にまた楽しく収穫体験ができました。

おみやげには採れたさつま芋をうれしそうに持って帰りました。



高取山(多賀町)でのデイキャンプ

10月6日（日）にバス2台で、多賀町にある「高取山ふれあい公園」に行き、デイキャンプをしました。参加者は小学生と保護者など総勢90名ほどでした。

ビニール袋でお米を炊いたり、炭で火起こしをしてバーベキューを楽しんだり、鉛筆立てを作ったり、宝探しをしたりと、みんな秋空の下での一日を思いっきり満喫することができ、楽しい思い出をつくることができました。



長浜養護学校の葉刈り

10月11日（金）に神照地区民生委員児童委員（OBも含む）の皆さんは、本年も長浜養護学校前庭の樹木の剪定や草むしりなどの奉仕作業をされました。職員や生徒さんにも大変喜ばれ、綺麗にしてくださいました。

お疲れさまでした。



まちづくりセンターがきれいになりました!

9月26日（木）地域づくり協議会や神ゆうく^{しん}らぶの有志30余名で駐車場周りのつつじの中の草むしりをして頂きました。また、プランターに季節の花も植えて頂きました。

おかげで綺麗になり、ありがとうございました。



明治花火大会

10月13日（日）に今町では、「天皇陛下ご即位記念明治花火大会」が盛大に開催されました。今町の八坂神社には花火文化の象徴とされている陣屋（今村巴蓮陣）が13年ぶりに設営され、午後6時から6種類の明治花火とその対象として現代花火も打ち上げられ、多くの人で賑わいました。



防災研修会

地域づくり協議会では9月1日（日）「神照地区防災研修会」を開催しました。本年度で6回目となる研修会には、各自治会から自治会役員や自警団員の人など多くの人が参加されました。

最初にいくつかのグループに分かれて避難所運営ゲームでの運営管理体験をして頂き、次に長浜市防災危機管理局の職員さんから「大地震・水害への備えと自主防災」について講演をしていただきました。

皆さんより提出いただいたアンケートでは、『良い勉強になりました』、『知らないことが多くありました』、『防災意識を持つ良い機会でした』などの声を聞き、来年度も開催したいと考えています。



総合防災訓練



長浜市では10月27日（日）長浜北小学校運動場で、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする震度7の地震を想定し、地震発生時に迅速かつ的確に対応できる体制の確立と防災意識の高揚を図ることを目的として、総合防災訓練が実施されました。

消防団や自治会関係の方、周辺住民の方などたくさん参加され盛大に行われました。

神照寺整備事業

地域づくり協議会では10月26日（土）に、昨年に続き神照寺の参道に植えられている萩の花が倒れないように作られていた柵の取り外しや萩の枝の伐採を行いました。

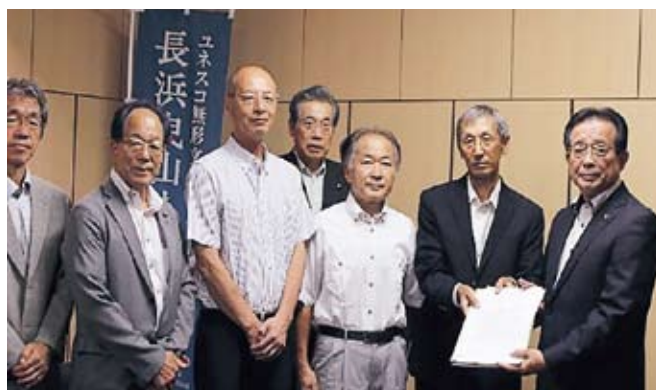
ボランティアとして参加していただいた皆さんお疲れ様でした。おかげさまで大変綺麗になり、来年に咲く萩の花が待ち遠しいです。



～神照連合自治会から市に要望～

本年度も9月4日（水）に神照連合自治会正副自治会長から「自治会要望」を長浜市長に手渡しました。

神照地域住民が安心安全に生活が過ごせるまちづくりに向けた取り組みについて、地域の全体的な事項や各自治会の個別要望64項目を提出要望しました。



～神照ふるさと紀行～

大井川のほとりを歩いて

神照地区には、いくつかの川が流れていますが、地区を東西に走る大井川は、まさに私たちの「生活を支える川」といえるでしょう。

広報委員数名が琵琶湖岸の美浜町付近から長浜市西上坂町付近まで散策しました。

散策途中、祇園町にある花屋さんの近くから川をのぞいて見ると、30センチ前後の大きな魚が泳いでいます。川の前を見つめると、神照地区の見慣れた田園風景があり、そして小さく北小学校が見え、その後ろには伊吹山がそびえています。

北小学校は現在、大井川の北側に立っていますが、以前の校舎は川の南側にありました。子供の頃、この川で魚とりをした楽しい思い出が淡くよみがえってきます。北小学校の卒業生は、校舎の思い出と同時に、この大井川の風景を思い出すことでしょう。

列見町から八幡中山町に入ると、暗渠（地下に埋設した水路）となっているところが増えていきます。姉川左岸土地改良区の方にお聞きしたところ、大井川は、以前から農業排水や生活排水用の河川として利用されていましたが、浸水被害等に対応するため昭和30年代から昭和50年代前半にかけて、大井川の排水改良工事が大規模に進められたそうです。その頃から神照地区も都市化が進み、防災の観点からも大井川の重要性が高まってきました。お話をお聞きして、近年の大規模な自然災害を体験している私たちにとって、大井川がいかに大切な川であるかということ、あらためて感じることができました。

そして、大井川は、川崎町～口分田町～榎木町と続き、最後は姉川扇状地付近の上流地へと続いています。

大井川の水は、今日も静かに流れています。清らかな水が流れています。洪水等の災害時には浸水被害を防ぐため、神照地区の多くの水を琵琶湖に流してくれます。

私たちの「生活を支える川、大井川をこれからも大切にしたい」、そんな思いをした散策でした。



▲琵琶湖への流入地付近（美浜町）



▲大井川

これからの予定

★しめ縄づくり

日時：令和元年12月22日（日）
場所：神照まちづくりセンター

★かみてるこども広場

日時：令和2年2月15日（土）
場所：神照まちづくりセンター

★ほっぺのひろば

日時：令和2年1月23日（木）
令和2年2月27日（木）【イベント】
場所：神照まちづくりセンター

★サロンボランティア交流会

日時：令和2年2月中・下旬予定
場所：神照まちづくりセンター